

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（８月）

令和 7 年 8 月 1 9 日
青森県三八農林水産事務所
農 業 普 及 振 興 室

I 土地利用型作物

1 水稻

（１）出穂状況

管内における出穂最盛期（50%進ちょく）は、平年より 7 日早い 7 月 27 日であった。

（２）刈取適期

刈取適期到達の目安である出穂後の積算気温 960℃到達日は、最も早い地域で 8 月 30 日からと予想される（8 月 5 日予測）。

今後、平年より気温が高く推移した場合は、刈取適期が更に早まる可能性もあるため、ほ場の登熟状況を確認し、作業が遅れないよう十分留意する。

（３）今後の指導・対策等

ア 登熟期の高温対策として、地域の用水量に応じて、掛け流しや水の入れ換え、飽水管理などを行い、地温を下げて根の機能を維持する。

イ 早期落水は胴割米の発生を助長し品質を低下させるため、落水は、乾田で出穂後 30～35 日、湿田で出穂後 20～25 日を目安とする。

ウ コンバイン、乾燥機等の保守・点検を行う。

エ 刈遅れによる品質低下を防ぐため、適期を迎えたら速やかに収穫する。

表 1 管内の出穂状況と刈取始期予想（8 月 5 日時点）

市町村名	出穂状況			出穂最盛期 の平年差	刈取始期 予 想 (月日)
	始め (5%出穂)	最盛期 (50%出穂)	終わり (95%出穂)		
八戸市	7 月 23 日	7 月 27 日	8 月 1 日	早 7 日	9 月 2 日
五戸町	7 月 24 日	7 月 27 日	8 月 1 日	早 7 日	9 月 3 日
階上町	7 月 22 日	7 月 26 日	7 月 30 日	早 9 日	8 月 31 日
新郷村	7 月 25 日	7 月 29 日	8 月 2 日	早 5 日	9 月 4 日
三戸町	7 月 21 日	7 月 25 日	7 月 28 日	早 8 日	8 月 30 日
南部町	7 月 23 日	7 月 26 日	7 月 30 日	早 9 日	9 月 1 日
田子町	7 月 21 日	7 月 27 日	7 月 31 日	早 7 日	8 月 30 日

2 大豆

(1) 生育状況

八戸市市川では、草丈は平年より高く、葉数は平年より多く倒伏の発生が見られた。

五戸町倉石中市では、草丈は平年より低く、葉数は平年より多かった。

8月5日からの降雨の影響により、べと病の発生が見られる。

表2 大豆生育観測ほ生育状況（8月10日現在）

調査地点	年次	播種日 (月日)	開花期 (月日)	草丈 (cm)	葉数 (葉)
八戸市 市川	本年	6月6日	7月22日	112.7	13.6
	平年※	5月30日	8月1日	93.6	12.1
五戸町 倉石中市	本年	6月10日	7月29日	80.1	13.2
	平年※	6月10日	8月3日	86.0	11.5

※平年値は平成25年～令和6年の平均値

(2) 今後の指導・対策等

べと病、アブラムシ類及び食葉性害虫などの病害虫は、発生状況を確認して適期防除に努める。8月中下旬にマメシンクイガ及び紫斑病防除を行う。

3 小麦

生育観測ほでは、稈長及び穂長は平年を上回ったが、穂数は平年を下回った。

6月の降水量が少なく高温のため登熟期間が短くなった影響から、千粒重が小さくなり収量は390.8kg/10a(平年比88.3%)と平年を下回った。等級は1等であった。

表3 小麦生育観測ほ成熟期及び収量調査結果

年度	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	全重 (kg/10a)	子実重 (kg/10a)	千粒重 (g)	等級
本年	88.3	8.4	417.9	1087.9	390.8	29.8	1
平年	77.0	8.2	440.6	1080.1	442.1	34.1	2
前年	75.2	7.2	448.0	1180.6	453.8	29.5	-

Ⅱ 野菜

1 ながいも

(1) 生育状況

ア 生育観測ほでは、植付の遅れの影響で、いも長、いも重は平年を下回っているものの、いも径は平年並で生育は回復傾向である。病虫害の発生は特にみられなかった。

イ 普通栽培では、つるがネット頂に到達し、茎葉が繁茂している。病害は、一部ほ場で葉渋病が発生している。害虫は、ナガイモコガの食害が散見されるほか、一部のは場でハダニ類の食害がみられる。

表4 ながいも生育観測ほ生育状況（8月8日現在）

年 度	定 植 期						つるの ネット頂 到達日	7 月 10 日現在 (本年調査日:7月 10日)			8 月 10 日現在 (本年調査日:8月8日)		
	植付 期 (月日)	種いも の種類	萌 芽			欠株 率 (%)		いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)	いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)
			始 期 揃い										
			(月日)	(月日)	(月日)								
本 年 (平年比)	5/14 遅8日	ガンク欠	6/18 遅12日	6/20 遅11日	6/23 遅11日	0	7/10 遅3日	14.3 84%	6.6 84%	9.1 112%	43.3 86%	218.3 95%	39.0 103%
平 年	5/6	ガンク欠	6/6	6/9	6/12	0	7/7	17.0	7.9	8.1	50.1	230.1	37.7
前 年	5/20	ガンク欠	6/20	6/22	6/24	0	7/12	11.2	3.0	6.9	45.0	171.3	35.2

※本年の調査日：8月8日

※栽植様式：うね幅 120cm、株間 22cm (3,787 株/10a)

※種子の系統：庄司系、使用種子の種類・重さ：2年子・120～150g

※平年値は平成27年～令和6年の平均値

(2) 今後の指導・対策等

ア 明きよの設置等、排水対策を徹底する。

イ 台風等の強風に備え、支柱の補強を徹底する。

ウ 追肥は遅くても8月20日に終わるようにする。

エ アブラムシ類、ナガイモコガ、炭疽病、葉渋病等の予防防除に努める。

2 にんにく

(1) 令和7年産の生育経過と作柄状況

ア りん片分化期は、平年より4～6日遅かった。その後の気温が平年より高めに推移したことから、収穫期は概ね平年並であった。

イ 球径は平年比88～105%、球重は平年比77～116%、収量は平年比73～118%となり、新郷では平年を大幅に上回り、五戸、田子では平年並、旧倉石では平年を大幅に下回った。

ウ A品率は、旧倉石では平年に比べて高かったが、その他の地点では平年を下回った。

エ 主な落等要因は着色や割れ（裂皮）、薄皮などであった。

オ りん片分化期から収穫までの積算温度は、白玉王（五戸・田子）が950～989℃、在来種（旧倉石・新郷）が914～938℃であった。

表5 にんにく生育観測ほ収量調査結果

場所・ 植付日	年次	りん片 分化期	収穫日	球径 (mm)	球重 (g)	収量 (kg/10a)	等級割合(%)				備考
							A	B	C	外	
五戸町 桜沢 (R6.10.6)	本年	4月18日	6月20日	62.9	77.4	1,290	51	31	14	4	白玉王 グリーンマルチ 積算温度 950℃
	(平年比)	4日遅い	平年並	(99%)	(102%)	(100%)	-9	+2	+6	+1	
	平年	4月14日	6月20日	63.4	76.1	1,286	60	29	8	3	
	前年	4月14日	6月19日	63.7	80.2	1,337	65	32	2	2	
旧倉石 又重 (R6.10.2)	本年	4月21日	6月19日	51.1	47.0	712	96	2	2	0	在来系 グリーンマルチ 積算温度 914℃
	(平年比)	6日遅い	平年並	(88%)	(77%)	(73%)	+47	-24	-19	-3	
	平年	4月15日	6月19日	58.4	61.4	975	49	26	21	3	
	前年	4月15日	6月13日	59.8	65.7	1,031	78	22	0	0	
新郷村 扇ノ沢 (R6.10.3)	本年	4月21日	6月20日	63.3	80.5	1,299	32	53	15	0	在来種 グリーン(無穴) 積算温度 938℃
	(平年比)	5日遅い	1日早い	(105%)	(116%)	(118%)	-13	+13	+3	-3	
	平年	4月16日	6月19日	60.5	69.5	1,100	45	40	12	3	
	前年	4月15日	6月13日	61.4	72.2	1,062	36	58	6	0	
田子町 日ノ沢 (R6.9.28)	本年	4月21日	6月23日	60.1	70.8	1,180	24	49	27	0	白玉王 グリーンマルチ 積算温度 989℃
	(平年比)	5日遅い	2日遅い	(93%)	(104%)	(100%)	-25	+19	+16	-9	
	平年	4月16日	6月21日	64.8	67.9	1,184	49	30	11	9	
	前年	4月14日	6月18日	67.8	64.9	1,433	41	45	9	5	

注) 平年値について

五戸は、R6から調査地点変更

五戸：H27年～R6年までの過去10年間の平均値

旧倉石：H27年～R6年までの過去10年間の平均値

新郷：H27年～R6年までの過去10年間の平均値

田子：H27年～R6年までの過去9年間の平均値（R2を除く）

等級割合はH27年～R6年までの過去10年間の平均値（田子は上記と同じ）

(2) 今後の指導・対策等

ア 種子増殖「専用ほ場」を設置し、優良種子を購入して計画的に増殖する。

イ 種子は病害虫による汚染を防止するため、販売用と隔離して保管する。

ウ 土壌診断結果に基づく適正施肥を行う。

エ 9月下旬から10月上旬までの適期に深さ7cm程度に植え付ける。

3 トマト

(1) 生育状況

ア 生育観測ほでは、9段目の開花期が7月30日と平年より11日早く、現在4～5段目を収穫中である。7月も高温が続いたため裂果が発生しており、落花や弱小蕾もみられる。

イ 病害虫は、オオタバコガによる茎や果実の被害がみられるほか、トマトキバガの発生がみられる。

ウ 一般ほ場では、高温の影響で、落花や尻腐れ症状、裂果の発生がみられている。

エ 病害の発生は少ないが、タバコガ類やアザミウマ類による果実被害が見られるほか、トマトキバガの発生がみられている。

表6 トマト生育観測ほ生育状況（8月8日現在）

年 度	定 植 時			着 果 状 況							
	品 種 名	定植期 (月日)	育 苗 ・ 活 着 状 況	1 段花房		5 段花房		7 段花房		9 段花房	
				開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)
本 年 (平年比)	りんか409 (自根)	5/12 1日遅	良好	5/29 3日遅	3.8 93%	6/27 6日早	2.6 104%	7/15 6日早	2.4 92%	7/30 11日早	(未定) —
平 年	りんか409	5/11		5/26	4.1	7/3	2.5	7/21	2.6	8/10	2.0
前 年	りんか409	5/5	良好	5/21	4.6	6/27	3.5	7/11	2.8	7/27	2.4

※栽植様式：畦幅 210cm、株間 40cm、条間 70cm、栽植株数 1,960 株／10a、黒マルチ栽培

※平年値はH27～R 6年の平均値

(2) 今後の指導・対策等

ア 気象条件に応じたかん水・追肥を行う。

イ 晴天日が続く場合は遮光資材でハウスを覆う。

ウ 病害は、葉かび病や灰色かび病の防除を中心に予防散布を徹底する。

エ 虫害は、タバコガ類の防除を中心に、早期発見、早期防除に努める。トマトキバガ発生ほ場では、定期的な薬剤散布で発生密度の低減に努める。